



埼玉県のマスコットコハトン

2008 Summer [6～8月] 季刊

平成20年6月6日 通巻 第13号

編集・発行 埼玉県立熊谷図書館

<https://www.lib.pref.saitama.jp/> Tel 048-523-6291

ひ め かがみ

『比賣鑑』から学ぶ「女性の品格」

2007年は、「品格」という言葉を耳にする機会が数多くありました。『女性の品格』（坂東眞理子著 PHP研究所）の発行が、その一因だったといえるでしょう。今、あらためて「品格」や「品性」が注目され、必要とされています。では、どのような女性が「品格がある」とされ手本とされたのでしょうか。時代を遡って、江戸時代の「女性の品格」を紐解いてみてはいかががでしょう。今回は、『婦女鑑』や『本朝女鑑』など、女性の「鑑（手本）」を紹介し、女性の教訓書ともいえる文献を数多く所収している、『日本人物情報大系 女性叢伝編』（芳賀登／〔ほか〕編 皓星社）の中から、『比賣鑑』についてご紹介します。

○『比賣鑑』 中村惕斎著

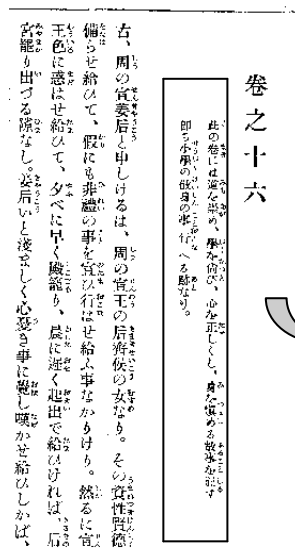
『比賣鑑』とは、江戸時代に、中村惕斎（なかむらてきさい）という儒学者によって書かれた、女性に向けた教訓書です。前・後編の全31巻からなり、前編12巻は「述言」として、朱子の『小學』に法り、教訓となる教えが書かれています。後編13巻からは「紀行」として、和漢の様々な文献にみられる、教えに符合した女性たちを例証として紹介しています。

★「小學」とは

宋の朱子が少年に学問の本質を教え、同時に教育に携わる師に少年教育の在り方を示すために編纂した書です。内容は、立教（学問・子を教える）・明倫（父子・君臣・夫婦・兄弟・朋友の礼儀）・敬身（身を慎む・心構え）・稽古の4篇からなっています。

（参考：『岩波哲学・思想事典』岩波書店 1998）

ここでは、巻之一六の冒頭部分からみてみましょう。この巻は、右の抜粋にあるように、『小學』の中の「敬身」つまり、自分の身を慎む方法や、心構えなどについて書かれているようです。



『日本人物情報大系 第1巻 女性叢伝編1』より

此の巻には道を崇め、學を尚び、心を正しくし、身を慎める故事を記す
即ち小學の敬身の事行へる跡なり。

では、実際にどのような「鑑」となる人物が紹介されているか、読み進めてみることにしましょう。巻之一六には、周の宣姜后や橘媛など、7人の女性が紹介されていますが、その中でも特に、唐の文徳皇后に注目してみます。

文徳皇后（ぶんとくこうごう）は、名君といわれる中国唐の二代皇帝太宗の後です。

この中に、次のような一文があります。帝いと重く思し入れて、世の政を擧げて問謀らるゝ事度々なりつれど、牝鶏の晨を告ぐるは、これ家の禍なりといふ故事に寄せて、假にもさし應へ給はず。

皇帝が、文徳皇后の存在を重んじ、度々政治についての助言を求めることがありましたが、「牝鶏の晨を告ぐるは、惟れ家の禍なり」といい、決して、応えようとしませんでした。

また、文徳皇后の兄に、太宗が若いときから仕え軍功をあげている長孫無忌という人物がいました。この兄を重用しようとする太宗に対し、

外戚の政に與ること、昔から善からぬ例

といい、親類が政治に関わることは、昔から良い例が無いとして、反対しました。別の妃に子ができれば、自分の子にも勝って可愛がり、生涯質素を好み、儉約を尊ぶ一方で、自らの装いに関しては、少しも怠ることがなかったといいます。

これら文徳皇后の生きた姿から、何を感じるのでしょうか？古人に学び己を戒め、他人を思いやる心を忘れず、私欲に走らない、そのような、謙虚に生きる姿勢を学びとるかも知れません。

それぞれの時代によって求められる理想像は、全く異なるものです。しかし、改めてこれらの本（シリーズ）を読んでみると、現代人にも通じる心の在り方や心の保ちようを見つけてことができます。自分が今生きている時代の中で、どう「品格」をもって生きるか、自分にとっての「品性」とはどのようなものかを考える一助として、過去の文献を紐解いてみてはいかがでしょうか。

★「牝鶏の晨するは、惟れ家の索くるなり」

「雌鳥が夜明けを告げて鳴いたならば、その家は滅びてしまう」という意味の中国の古諺です。夜明けを告げて鳴くのは、雄鶏であることから、女性が権勢をほしいままにすると、その国（家）が滅びてしまうということをいっています。

周の武王が、王妃の言いなりになる紂王を風刺して引用したことが知られています。

（参考：『史記の事典』大修館書店 2002）



『比賣鑑』をじっくりと読みたい方へ

『比賣鑑』は、以下の資料に全篇収録されています。

『日本人物情報大系 1 (女性叢伝編1)』芳賀登／〔ほか〕編 皓星社 1999

※参考資料のため貸出することができません。 (公開：R281.08/ホ)

『婦人文庫 2 伝記』婦人文庫刊行会 1914 (書庫：084/F64) 『比賣鑑 述言篇』収録

『婦人文庫 7 伝記』婦人文庫刊行会 1915 (書庫：084/F64) 『比賣鑑 紀行篇』収録

『近世女子教育思想 第2巻』日本図書センター 1980 (浦和館所蔵：371.2/キ)

今回紹介した『日本人物情報大系 女性編』に所収されている文献は、以下のとおりです。

《女性叢伝編》

- ①本朝女二十四孝・女郎花物語・本朝女鑑・本朝列女伝・大東婦女貞烈記・古今烈女伝／比賣鑑 紀行編／柳営婦女伝叢／孝貞節烈 近世名婦伝 初輯／近世名婦百人撰／婦女鑑
- ②明治の令嬢／教界の婦人／現代女傑の解剖／名媛の学生時代／貞烈亀鑑 上／近世名媛伝／男女修養 夫婦成功美談 第一編／明治時代の婦人／近世名婦伝／
- ③女優かゞみ／女優の告白／闘へる女性／女盛衰記／大正婦人立志伝／産婆看護婦 関東大震災殉難記
- ④名流婦人情史／女優情史／俎上の名流婦人／現代日本婦人伝／現代婦人伝
- ⑤支那事変 救護員美談 第一～五輯／大東亜戦争 救護員美談 第六輯／軍国の母の姿／軍国の母の姿 第二輯／還らぬ白衣／日本女性の力

《女性録編》

- ①初版 大日本婦人録／婦人社交名簿／大正九年 婦人年鑑 (抄)
- ②現代名婦大鑑 第一編／日本婦人録 第一輯／日本婦人の鑑 (抄)／全日本公私職婦人録
- ③婦人録ほか／昭和二十七年版日本婦人録／現代女流人物事典
- ④日本女性録 第1分冊
- ⑤日本女性録 第2分冊

番外編！ 白洲次郎に学ぶ「男の品格」

白洲次郎とは、どういった人物であったのでしょうか？「白洲天皇」「ラスポーチン」「白洲百人力」などのあだ名からも、人物像を伺うことができます。

第二次世界大戦が始まると、日本が負けることを確信していた彼は、戦中の食糧不足を予測し、鶴川村（現町田市）で農業を始めます。その一方で、田舎に住みながらも、常に政局に目を光らせ、国の危機があれば中央に駆けつける「カントリー・ジェントルマン」を理想とし、実践しました。

終戦後の混乱期には、GHQと対等に渡り合い「従順ならざる唯一の日本人」といわれた「白洲次郎」。自分にとっての「プリンシプル（原則）」を持ち続け、頑なに貫き通した彼に「男の品格」を感じずにはられません。

《参考文献》

- 『日本人物情報大系 企業家編10』芳賀登〔ほか〕編 皓星社 2000（公開：R281.08/ニホ）
『白洲次郎の生き方 男の品格を学ぶ』馬場啓一著 講談社 1999（公開：289.1/シ5009）
『白洲次郎 コロナ・ブックス 67』白洲正子ほか〔著〕 平凡社 1999
（公開：289.1/シ5018）
『風の男白洲次郎』青柳恵介／著 新潮社 1997（公開：289.1/シ5009）
『白洲次郎の日本国憲法 隠された昭和史の巨人』鶴見紘著 ゆまに書房 1989
（書庫：289.1/Sh85）

* 日本人物情報大系その他のシリーズのご紹介 *

『日本人物情報大系』は、人物を調査するためのデータベースとして、膨大な量ゆえに、今まではあまり手がつけられてこなかった、列伝や叢伝類からも人物情報を集め、まとめられたものです。当時の姿そのままを復刻して収めているのも魅力ですが、索引類から自分が求める情報へ簡単にたどり着くことができ、調べものに役に立つ一冊となっています。

- 『日本人物情報大系 満洲編1～10』 芳賀登／〔ほか〕編 皓星社 1999
満洲紳士録／記念誌／支那在留邦人興信録ほか (公開：R281.08/ニホ)
- 『日本人物情報大系 憲政編1～10』 芳賀登／〔ほか〕編 皓星社 2000
民権家列伝／国民必読国会準備人物伝／日本政党銘々伝ほか (公開：R281.08/ニホ)
- 『日本人物情報大系 企業家編1～10』 芳賀登／〔ほか〕編 皓星社 2000
耐忍偉業商人立志篇／東京商業会議所会員列伝／褒賞実業偉績ほか (公開：R281.08/ニホ)
- 『日本人物情報大系 学芸編1～20』 芳賀登／〔ほか〕編 皓星社 2000
江戸今世医家人名録／今世医家人名録／海内医林伝ほか (公開：R281.08/ニホ)
- 『日本人物情報大系 書画編1～10』 芳賀登／〔ほか〕編 皓星社 2001
本朝画史／画乗要略／扶桑画人伝ほか (公開：R281.08/ニホ)
- 『日本人物情報大系 朝鮮編1～10』 芳賀登／〔ほか〕編 皓星社 2001
在外本邦人店舗調査書／在外本邦人農工商家漁業者人名録／在韓人士名鑑ほか (公開：R281.08/ニホ)
- 『日本人物情報大系 諸芸・諸職編1～10』 芳賀登／〔ほか〕編 皓星社 2001
名人忌辰録／東京俳優名鑑／日本俳優鑑ほか (公開：R281.08/ニホ)
- 『日本人物情報大系 宗教編1～10』 芳賀登／〔ほか〕編 皓星社 2002
宗教大観／宗教年鑑／護教篇ほか (公開：R281.08/ニホ)



開館時間変更のお知らせ

6月～9月の間、開館時間が以下のとおりとなります。

火～金 9：00～20：00

土・日 9：00～17：00

*7月・8月の第4金曜日は開館いたしません。

*子ども室は、平日・土日祝日とも9:00～17:00までです。

詳しくは、カウンターに備えてある、図書館カレンダーでご確認ください。